

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 12 月 7 日作成)

小委員会名	居住性能評価指針改定小委員会		主 査 名：横山 裕 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (環境振動運営委員会)		委員長名：岩田利枝 主 査 名：国松 直
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	建築物の振動に関する居住性能評価規準・同解説の改定		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：横山 裕 (東京工業大学) 幹事：松本泰尚 (埼玉大学) 委員：安藤 啓 (安藤環境コンサルタント), 石川孝重 (日本女子大学), 井上勝夫 (日本大学), 国松 直 (産業技術総合研究所), 鈴木雅靖 (鹿島建設), 野口憲一 (近代建築保存技術研究室), 濱本卓司 (東京都市大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	性能評価法検討WG (居住性能評価規準・同解説の改定 (案) 作成に係わる具体的作業)		
2018 年度予算	5,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s17/subcommittee6_guideline/AIJ_EVSC6index.html	

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	日本建築学会環境規準 AIJES-V0001-2018 建築物の振動に関する居住性能評価規準・同解説
講習会	講習会「日本建築学会環境規準 建築物の振動に関する居住性能評価規準」 参加者数 167 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	当初の予定通り、「建築物の振動に関する居住性能評価規準・同解説」の改定版を刊行し、講習会を開催した。
委員会活動の問題点 ・課題	特になし

2018 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

<p>総合評価 (4段階評価)</p>	<p>A</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>当初の目的である「建築物の振動に関する居住性能評価規準・同解説」の改定版刊行、および講習会開催を完了した。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。